

14=49受

1/7

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第20520報)

2019年11月24日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原2-2
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項口) (対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。
発生事象と対応の概要(注2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラント関連パラメータ [11月24日11時00分現在]</li> <li>・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 11月23日]</li> <li>・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 11月23日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 11月20日]</li> <li>・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 11月22日、23日]</li> <li>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</li> <li>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</li> <li>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</li> </ul> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクKの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、11月25日に排水を実施します。                  排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 11月20日]</li> </ul> <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2/7

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年11月24日 11:00現在

(留意事項)
各計測機については、地震やその他の事故発生時の影響を受けて、測定の使用制限条件を
用いているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測機も存在している。
プラントの状態を把握するため、このような計測機の不確かさを考慮したうえで、調整
の計測機から得られた数値を使用して変化の傾向にも着目して判断している。

Table with 4 columns: 1号機, 2号機, 3号機, 4号機. Rows include parameters like 原子炉注水状況, 原子炉圧力容器底部温度, 原子炉格納容器内温度, 原子炉格納容器圧力, 蒸発器入流量, 原子炉格納容器ガス管理システム排水流量, 原子炉格納容器放射能濃度, 使用済燃料プール水温度, and FPC制御ヤカウ水位.

(計測機に関する情報)

※1: 原子炉格納容器がマイグナスの濃度が0.00vol%と記録する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測値によりマイグナス表示される場合があるため)
原子炉格納容器ガス管理システムの排水濃度を記録する。
※2: 原子炉格納容器が排出ガス濃度の濃度がNDと記録する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度を0e135)を記録する。
※3: 使用済燃料の温度。圧力と調整正し/1.0を記録する。

※4: 蒸発器停止中
※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中

2019年11月24日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (11/3 to 11/23) and location (e.g., ① ND(4.6), ② ND(4.9)).

CS-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (11/3 to 11/23) and location (e.g., ① ND(3.9), ② ND(5.0)).

CS-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement date (11/3 to 11/23) and location (e.g., ① ND(3.8), ② ND(5.1)).

- <調査場所>
① 小野川/建設南東
② プロセス主建屋北東
③ プロセス主建屋南東
④ プロセス主建屋南西
⑤ 焼固体系廃棄物液等処理建屋南
⑥ サイトン/カ建屋南西
⑦ 焼却工作建屋 西側
⑧ 焼固体系廃棄物液等処理建屋北
⑨ サイトン/カ建屋南東

※I-131はサブドレン水調査を実施していないことを示す。
※⑥は④が採取不十分となったため、地下水流の上流側として測定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑦は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨は後出限界値を示す。( ) 内に後出限界値を示す。

Handwritten mark '3/7'

2019年11月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

		A排水路		物揚場排水路	
採取日	11月22日	11月23日	11月22日	11月23日	
採取時刻	8:00	7:35	8:05	7:30	
降雨量(mm/日)	14	7	14	7	
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	
Cs-134(約2年)	ND(0.88)	ND(0.58)	ND(0.65)	ND(0.77)	
Cs-137(約30年)	9.0	2.3	1.9	4.0	
全β	11	5.2	3.9	ND(3.3)	
H-3(約12年)	-	-	-	-	

単位: Bq/L

		K排水路		BC排水路	
採取日	11月22日	11月23日	11月22日	11月23日	
採取時刻	8:20	6:00	6:00	6:00	
降雨量(mm/日)	14	7	14	7	
流量(m <sup>3</sup> /秒)	解析中	解析中	解析中	解析中	
Cs-134(約2年)	ND(0.59)	3.4	ND(0.65)	ND(0.62)	
Cs-137(約30年)	9.7	50	ND(0.82)	ND(0.80)	
全β	12	65	ND(2.9)	ND(3.3)	
H-3(約12年)	-	-	-	-	

単位: Bq/L

\* 太枠内が今回公表データ。他は11月23日までにお知らせ済み。

\* 測定対象外の項目は「-」と記す。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

4/7

2019年11月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/2)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(塩)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取日															
採取時刻															
塩素(単位: ppm)															
Cs-134(約2年)															
Cs-137(約30年)															
その他															
γ															
全β															
H-3(約12年)															
Sr-90(約29年)															

	1号機 ウエルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(塩)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2号機 改修ウエル 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(塩)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取日							11月20日								
採取時刻							8:28								
塩素(単位: ppm)							480								
Cs-134(約2年)							ND(0.35)								
Cs-137(約30年)							2.3								
その他															
γ															
全β							370								
H-3(約12年)							760								
Sr-90(約29年)															

\* 太枠内が今回公表データ。他は11月21日にお知らせ済み。  
 \* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き( )内に検出限界値を示す。  
 \* 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。  
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてその後測定。

5/7

6/7

# 福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/2)海水

単位: Bq/L

	福島第一 56号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東浜除染北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (運水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日		
採取時刻	7:45	7:40	7:25	7:05	7:10	6:45	7:11	7:09		
Cs-134 (約2年)	ND(0.73)	ND(0.38)	ND(0.40)	ND(0.50)	0.97	ND(0.75)	ND(0.30)	ND(0.31)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.71)	ND(0.46)	0.47	2.4	12	ND(0.56)	ND(0.54)	0.68	90	10
全β	—	ND(14)	ND(14)	ND(14)	16	12	ND(14)	ND(12)		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

単位: Bq/L

	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	福島第一 南放水口 付近 (T-2) <sup>(注)</sup>	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月23日	11月22日		
採取時刻	7:05	7:03	7:13	7:07	7:07	7:07	7:13	7:15	7:15	7:15		
Cs-134 (約2年)	ND(0.30)	ND(0.30)	ND(0.25)	ND(0.52)	ND(0.52)	ND(0.52)	ND(0.25)	ND(0.70)	ND(0.70)	ND(0.70)	60	10
Cs-137 (約30年)	ND(0.33)	ND(0.33)	ND(0.34)	0.57	0.57	0.57	ND(0.34)	ND(0.52)	ND(0.52)	ND(0.52)	90	10
全β	ND(12)	14	ND(12)	ND(11)	ND(11)	ND(11)	ND(12)	12	12	12		
H-3 (約12年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30	10

\* 太枠内が今回公表データ。他は11月23日にお知らせ済み。

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

\* 測定対象外の項目は「—」と記す。

\* 物揚場前は、シルトフェンス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

(注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

※ 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第1第六欄:周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載])

7/7

2019年11月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二廃炉推進カンパニー

# 福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

一時貯水タンク K (サンブルタンク K)	運用目標	告示濃度 限度 ※1	WHO飲料水 水質ガイドライン
東京電力 第三者機関			
採取日 2019年11月20日	2019年11月20日		
採取時刻 7:25	7:25		
貯水量 [m <sup>3</sup> ] 860	860		
セシウム134 ND(0.71)	ND(0.64)	60	10
セシウム137 ND(0.53)	ND(0.71)	90	10
その他 ガンマ核種 検出なし	検出なし		
全ベータ ND(1.8)	ND(0.33)		
トリチウム 610	670	60,000	10,000

\* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社  
 \* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。  
 (注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。  
 ※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度  
 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度「本表では、Bq/cm<sup>3</sup>の表記をBq/Lに換算した値を記載」)  
 ※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

14:49受

1/2

様式0-1(1/2)  
(第20521報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2019年11月24日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー  
福島第一原子力発電所  
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要)  第8137報他でお知らせした、1号機放水路上流側立坑においてCs-137の濃度が上昇した事象、及び第10182報他でお知らせした、2号機放水路上流側立坑において全ベータ放射能及びトリチウム濃度が上昇した事象について、1号機及び2号機放水路上立坑水の分析を実施しましたので、以下のとおり報告します。  ・福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果 [採取日 11月22日]  今回の分析結果については、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。今後も監視を継続していきます。  【公表区分：その他】
その他の事項の対応(注3)	なし  ※添付の有・無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。



2/2

2019年11月24日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

### 福島第一原子力発電所構内1号機、2号機放水路サンプリング結果

単位:Bq/L

	1号機放水路立坑水		2号機放水路立坑水	
	上流側	下流側	上流側	下流側
採取日	11月22日	11月22日	11月22日	11月22日
採取時刻	7:24	8:37	7:05	8:40
Cs-134(約2年)	190	56	66	ND(7.3)
Cs-137(約30年)	3,000	770	1,200	56
全β	3,500	2,400	1,400	130
H-3(約12年)	210	230	ND(120)	130

\* NDは検出限界値未満を表し、( )内に検出限界値を示す。

16:09受

1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第20522報)

2019年11月24日16時05分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社  
 福島第一廃炉推進カンパニー  
 福島第一原子力発電所  
 原子力防災管理者 磯貝 智彦  
 連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第20518報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクJに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水開始 : 10時05分</li> <li>・排水終了 : 15時19分</li> <li>・排水量 : 780m<sup>3</sup></li> </ul> <p>排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。</p> <p>【公表区分：E】</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

※添付の有・無  無

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。